

令和7年度第1回がん対策審議会議事録

- 1 日時 令和7年10月27日（月）午後6時30分から午後7時5分まで
 - 2 開催方法 オンライン開催
 - 3 出席委員
入江会長、加藤副会長、五十嵐委員、石井委員、金田委員、川越委員、竹内委員、藤澤委員、堀川委員、増渕委員、眞鍋委員、皆川委員
 - 4 審議事項
千葉県がん診療連携拠点病院等の指定に係る推薦について
 - 5 議事内容
- 審議事項 千葉県がん診療連携拠点病院等の指定に係る推薦について
【事務局より資料1～資料5、参考資料1に基づき説明】

○入江会長

内容が3点あるので1点ずつ審議したい。まず、1点目の日本医科大学千葉北総病院の指定の更新に対する推薦について、ただ今の事務局の説明に質問や意見はあるか。

(質問等なし)

○入江会長

条件を満たしているということで、継続して推薦してよろしいか。

(意義なし)

○入江会長

2点目の国際医療福祉大学成田病院の新規の申請について、ただ今の事務局の説明に質問や意見はあるか。

○五十嵐委員

専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数が1名と記載されている。こんなに人数が少なくて良いのかと思ったがどうか。

○事務局

少なくとも1名は配置することが指定のための要件となっており、推薦が可能な基準を満たしている。

○五十嵐委員

推薦すること自体は反対ではないが、薬物療法にも力を入れて欲しく、今後の方針についてわかれればと思った。そこまでは病院に聞いていないのか。

○事務局

聞いていない。

○金田委員

「患者サロン等の場を設けている」の項目が「いいえ」であり、11月開催予定となっている。本日は条件付き承認という認識で、患者サロンの開催を後日事務局が確認でき次第正式に承認という流れか。あるいは、事務局で患者サロンの開催を確認した上で、正式に推薦状を出すことになるのか。

推薦する方針についてはよいと思うが、その1点だけ確認したい。

○事務局

10月の末日までに厚生労働省へ提出となっており、この内容で推薦をさせていただく。ただし、要件を満たさない項目がある場合は、開催をした報告を年内に厚生労働省に追加で提出することで、来年開催の指定に関する検討会では、その充足状況を踏まえて判断される旨、通知に記載されている。

○入江会長

その他にはないか。

(質問等なし)

○入江会長

それでは、3点目の2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化の話について、質問や意見はあるか。

○五十嵐委員

均てん化・集約化をして、なおかつ一人も取り残さないことを実現しようとすると、病院に車などどのような方法で通うか、その部分を保障しないと本当に取り残されてしまう。交通網もバスなど本数がどんどん減っている。そのような状況の中で、一人も取り残さず集約化をしていくのは病院の努力だけではとても間に合わない。県でもそこを考えていただきたい。

○入江会長

五十嵐委員の意見はがんに関してだと思うが、全ての疾患にこの問題は当てはまっており、今後の大きな問題のため、御意見で承りたい。

○加藤副会長

集約化をする中で、全ての患者が取り残されないようにすることは非常に大きなテーマである。この厚生労働省が示している指針には集約化だけでなく、どこの病院でも等しく同じような治療が受けられるという均てん化も含まれている。高度先進的な医療は集約化が必要だが、簡単な治療は地域の全ての病院でできるように均てん化をする。そこは棲み分けをしながら、がんの診療提供体制を整えていくと認識しているので、そのような部分を今後がん診療連携協議会でよく話し合っていきたいと思っている。

○入江会長

その他に質問や意見があるか。

(質問等なし)

○入江会長

以上で、本日の議事は終了する。

【議事終了】